

「熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」(案)等について

I 素案に関するパブリック・コメントについて

1 募集期間

平成 27 年 8 月 6 日（木）から平成 27 年 9 月 4 日（金）まで

2 意見の件数（意見提出者数）

95 件（4 個人・4 団体）

3 ご意見の取扱い

反映（一部反映）	寄せられたご意見の趣旨を踏まえ、内容に反映（一部反映）するもの	7 件
既記載	意見の趣旨が既に素案に掲載されているもの	20 件
参考	今後の取組みの参考とさせていただくもの	46 件
補足	寄せられたご意見について、補足説明を行ったもの	13 件
その他	素案以外へのご意見や上記以外の取扱いを行ったもの	9 件

4 主なご意見

- ① 地元の小中高校生・大学生に対して、歴史・文化教育等の充実を通じ、地元への愛着を育むとともに、ライフプラン等を見据えた熊本に暮らす魅力・メリットを積極的に発信してはどうか。
- ② 未来の礎を考えるに当たって、熊本から外を見るのではなくて、世界そして東アジアや九州などの外から熊本を俯瞰していただきたい。
- ③ 九州各地での災害等の発生時に、本県がその兵站地としての役割を担うために、「九州中央自動車道」、「中九州横断道路」の早期整備による東西間のミッシングリンクの解消を図る。
- ④ 子供や若い人が、熊本に夢と希望を持てるよう、施策の構想段階から子供や、若い人、女性、子育て世代の率直な意見を取り入れてほしい。
- ⑤ 熊本県を挙げて実効性の高い総合戦略が策定されるよう、熊本県が積極的なリーダーシップを発揮して、県内各市町村の総合戦略と相互に緊密な連携を図ってほしい。
- ⑥ 農林水産業を支える人材育成・技術開発等を目指した研究・教育体制の整備に取り組んでほしい。

Ⅱ 「熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の素案からの主な変更点

- 1 「1 総合戦略の基本的考え方」の修正
 - ① 「くまもとライフ」（経済的な「豊かさ」のみならず、地域への誇り、安全・安心な暮らしなど、幸せを実感できる熊本でのライフスタイル）の実現と発信について追記
 - ② 「九州の中の熊本」の視点を強調

- 2 「7（3）県と市町村との連携の推進」の修正
熊本版地方創生コンシェルジュによる市町村支援等を追記

- 3 重要業績評価指標（KPI）の追加等
 - ① 新たな項目の追加や、目標数値等の向上を図ったもの 16 件
例）・県南フードバレー推進協議会の会員数
・企業立地による新規雇用予定者数
・女性の社会参画加速化自主宣言または女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定を行った事業所・団体数
・小さな拠点づくりに新たに組み込む地域数 等
 - ② 「検討中」としていたKPIの確定に伴うもの 8 件
例）・中山間地域の農業参入企業の雇用者数
・延べ宿泊者数
・安心して妊娠・出産ができる環境にあると感じる県民の割合 等
 - ③ 項目の表現や数値等について見直し、改善を図ったもの 14 件

- 4 その他文言の整理

Ⅲ 「熊本県人口ビジョン」の素案からの変更点

- 1 将来展望における年齢階級別人口グラフの追加
- 2 厚生労働省の平成 26 年人口動態統計（確定数）の公表に伴う数値の修正

Ⅳ 策定スケジュール

8 月 6 日	第2回幸せ実感くまもと「まち・ひと・しごと」づくり推進会議
8 月 6 日～9 月 4 日	素案に関するパブリック・コメント
9 月 30 日、10 月 1 日	県議会 9 月定例会常任委員会にて案の報告
10 月 21 日	第3回幸せ実感くまもと「まち・ひと・しごと」づくり推進会議
10 月末	策定・公表（予定）

V 「熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」(案)に掲げた施策の推進について

1 政府関係機関の地方移転に関する提案について

総合戦略(案)の「6 実現に向けた施策(1)活力と雇用を創る(エ)戦略的企業誘致の推進」に記載した「知」の集積をめざし、6つの政府関係機関について誘致を提案(平成27年8月31日)

(1) 国の提案募集内容

① 目的

東京の一極集中を是正するため、地方の自主的な創意工夫を前提に、それぞれの地域資源や産業事情等を踏まえ、地方における「しごと」と「ひと」の好循環を促進することを目的とする。

② 提案資格者

東京圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)以外の道府県又は府県域を越える広域連合。

(2) 本県の提案

提 案	誘致する機関	移転先市町村
①次世代型施設園芸の研究拠点の新たな設置	・生物系特定産業技術研究支援センター【丸ごと移転】 ・つくば野菜研究拠点【一部機能移転・地方拠点設置】	八代市又は玉名市
②有明海、八代海再生のための総合的な研究拠点の新たな設置	・中央水産研究所【一部機能移転】 ・水産工学研究所【一部機能移転】 ・西海区水産研究所「有明海・八代海漁場環境研究センター」【一部機能移転】	宇城市又は長洲町
③環境調査研修所の移転	・環境調査研修所【移転】	水俣市

2 地域活性化・住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型・上乘せ交付分)について

総合戦略(案)に記載する施策のうち、他の地方公共団体の参考となる先駆性を有する取組みなど23事業について、国に対し交付金の実施計画を提出するとともに、予算措置済み。

① 事業費 512百万円

② 主な事業(括弧書きは総合戦略(案)における位置づけ)

- ・新規学卒者の県内就職率アップ推進事業

((1)活力と雇用を創る (カ)産業ニーズに応じた人材育成の確保)

- ・ 外国人観光客に対する「おもてなし」向上プロジェクト事業
（(2)世界の中で輝く (イ)観光を基軸にした仕事づくり）
- ・ 地域の新たな魅力創出・交流人口拡大モデル事業
（(2)世界の中で輝く (イ)観光を基軸にした仕事づくり）
- ・ くまもと県南フードバレー地域連携プラットフォーム構築事業
（(4)未来の礎を築く (ウ)人口のダム効果を活かした広域連携の推進）
- ・ V I S I T あまくさプロジェクト推進事業
（(2)世界の中で輝く (イ)観光を基軸にした仕事づくり）
- ・ 世界文化遺産登録推進事業
（(4)未来の礎を築く (イ)歴史・文化・芸術・スポーツ等による地域づくり）
- ・ 建設産業総合支援事業
（(1)活力と雇用を創る (カ)産業ニーズに応じた人材育成の確保）

3 平成 28 年度予算の編成について

現在策定中の「熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標達成に向けた取組みをはじめ、県勢発展に向けて必要な取組みを着実に推進するために必要となる事業の予算措置について検討中。